

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式				
E1421018		合奏 (Ensemble)										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	1	4	教育学部			氏名 清水万敬						
						E-mail kshimizu@oita-pjc.ac.jp 内線						
授業の概要	リコーダーをはじめ、簡易な打楽器を含めての合奏など基本的な奏法を習得する。 移調楽器の知識を学修する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)											
目標1	リコーダーより高度な奏法を習得できる。											
目標2	リコーダーを含め打楽器での合奏技術を習得できる。											
目標3	簡易な打楽器のより高度な奏法を習得できる。											
目標4	簡易な打楽器での合奏技術を習得できる。											
目標5	リコーダー、打楽器、ピアノでの合奏技術を習得できる。											
目標6	管楽器の発音について知識を得ることができる。											
目標7	木管楽器の基本的な知識を習得できる。											
目標8	金管楽器の基本的な知識を習得できる。											
目標9	移調楽器の知識を得ることができる。											
目標10	異なる調性の楽器間での移調ができる。											
授業の内容												
1	「アルルの女」より間奏曲合奏											
2	「フォスター民謡集」合奏											
3	「オリエンタル ダンス」合奏											
4	木管楽器の発音の知識について											
5	フルート・オーボエの基本的奏法や音域について											
6	クラリネット・サクソフォーンの基本的奏法や音域、調性について											
7	金管楽器の発音の知識について											
8	トランペット・ホルンの基本的奏法や音域、調性について											
9	トロンボーン・ユーフォニアム・チューバの基本的奏法や音域について											
10	移調について											
11	小テスト、説明解説											
12	「ビリーブ」合奏											
13	「花は咲く」合奏											
14	「いつか王子様が」合奏											
15	「小さな世界」合奏											
ラーニング	A:知識の定着・確認	予習を行い、積極的にアンサンブルに参加する。				工夫	その他の					
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前に楽譜を読み、運指などを解決し、楽器で練習をしておく事。										
	事後学修	授業で順調に推移しなかった箇所を練習する事。また、理解出来なかったことを整理する。										
教科書	適宜、楽譜/プリントを配布する。											
参考書	中学校教科書(合奏編) メソッド・ソルフェージュ(音楽之友社発行) JBCバンドスタディ(ヤマハ株式会社管楽器学校営業部発行)											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	15%										
	発表	45%										
	試験	40%										
注意事項	楽器や譜面台の準備・片付け											
備考	なし											
リンク	URL											

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	オーケストラに在籍していた。現在も他大学で吹奏楽演習や器楽アンサンブルを担当している。
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	なし
実務経験を いかした教 育内容	オーケストラや吹奏楽での実務経験をもとに各楽器について話をします。